

# IO4 GALERIE

## Press Release

### The Body as a Coat of Shadow and the Coat as a Body of Light

テオドラ・アクセンテ

2023年11月4日(土) - 12月1日(金)

IO4GALERIE (東京・中目黒) は 2023 年 11 月 4 日 (土) ~ 12 月 1 日 (金) の会期で、テオドラ・アクセンテによる個展「The Body as a Coat of Shadow and the Coat as a Body of Light」を開催いたします。前回の個展からおよそ 2 年ぶり、2 回目となる本展では、10 点の新作を展覧いたします。

アクセンテの作品の主題は、精神的儀式の要素の探求から作られます。内なる自身や、方法、参照元、そして実践を重ねて新しいアイデンティティを見つけるのです。彼女は、人は常にある状態から別の状態に変化し続けるもので、その過程が常に奥深く秘密めいているものと捉えています。絵画の中では、登場人物の衣服やそこに置かれた物を使ってシュール作られた構図によって、その「個人の変化」が強調されています。

「私は想像力と直感を働かせて新たなフォルムの衣服を作り出し、意味を見出し、役割を与えます。例えばコートは単に人の体を覆うものというだけではありません。救いようがなく、この世の一部となっている体そのものなのです。ミケランジェロの「最後の審判」の中に見られる細部の捉え方には非常に感動しました。聖人の集まりの中から 1 人の聖人が自らの体の皮膚をもち、まるで自分自身の体から離別してしまったかのように、その手からぶら下げていました。その様子は、苦しみを通じてなされる自己否定のようで、自らの救済のために体は苦しみ、痛みや変化に耐え、それでいてなお身体は儂い物質として留まるのです。体とは内、外どちらにも起こる変質を表象するコートなのです」

また、近年アクセンテの作品でしばしば見られる絵画に登場する半人半獣 (“The White Satin Sin”, “The Eye in the Shadow”, “Bright Face”) は、常に高みを目指す人間の精神性と、野生的な欲深さや本能を表しています。誰しもが持っているこの動物的な面は、身体的で弱く、過ちを起こしやすい部分を通じて可視化されています。

作品は福音書や聖書の文章、ビザンツ帝国—ギリシャ正教会の象徴的絵図、牧師や司祭の衣服などから影響を受けており、魚や百合、鉄など、聖書に言及する要素が多く見られます。それらはアーティスト自身のアイデンティティの一部とも言えるかも知れません。そのモチーフも相まって一見すると古典的な絵画ですが、彼女独特のシュールな表現によって現代的に昇華されていることが分かります。個人それぞれの生き方や変化の過程を鮮やかに浮かび上がらせる、テオドラ・アクセンテの深い想像力こそが、その表現の源であり芸術なのです。

11 月 4 日 (土) 16:00 より アーティストを囲みオープニングレセプションを行います。皆様には是非作品をご高覧いただけますと幸いです。

**Teodora Axente (テオドラ・アクセンテ)** 1984 年、ルーマニアのシビウ出身。2004 年にクルージュ芸術大学 (ルーマニア) で博士過程を修了し、現在はクルージュ = ナポカを拠点として活動するアーティスト。2011 年、エッセル美術館 (ウィーン / オーストリア) にてエッセルアワードの受賞者のひとりとして作品展示。2015 年、ボルダー現代美術館 (コロラド州 / 米国)、クルージュ美術館 (クルージュ = ナポカ / ルーマニア)、アートセンター・Hugo Voeten (ヘーレンタルス / ベルギー) にて作品を展示。2016 年 5 月には Hugo Voeten で個展が開かれた。また 2017 年にはフリシラス博物館の第 3 回フリシラス賞を受賞。2018 年にクルージュ美術館にて、2019 年フリシラス美術館 (ギリシャ / アテネ) にて個展を開催するなど、国際的に活動している。

# IO4 GALERIE

## SOLO EXHIBITIONS

- 2022 Vertical body mirrors, gallery rosenfeld, ロンドン (イギリス)
- 2021 Listen How the Horns are Growing, 104GALERIE, 東京
- 2019 Symmetries of the Oneiric, rosenfeld porcini, ロンドン (イギリス)
- 2018 The Silk Eye, Galerie Dukan, パリ (フランス)  
The Space for a Letter, Museum of Art – Cluj, クルジュ=ナポカ (ルーマニア)
- 2017 The Presence of The Absence, Doris Ghetta Gallery, オルティゼーイ (イタリア)
- 2016 Cold Lining. Removing the Garb in Mystery, Ana Cristea Gallery, ニューヨーク (アメリカ)  
The Noise of Silence, The Art Center Hugo Voeten, アントワープ (ベルギー)
- 2015 Dipping Into Matter, Galleria Doris Ghetta, ボルツァーノ (イタリア)  
Nauz, Performance Transart, Galleria Doris Ghetta, オルティゼーイ (イタリア)

## SELECTED GROUP EXHIBITIONS

- 2022 Teodora Axente, Robert Bosisio, Donata Wenders, Group Exhibition, 104GALERIE, 東京
- 2021 Inspirations from the ancients, rosenfeld porcini, ロンドン (イギリス)  
Painting the figure, rosenfeld porcini, ロンドン (イギリス)  
Contemplating the Spiritual in Contemporary Art, rosenfeld porcini, ロンドン (イギリス)
- 2017 3D FRISSIRAS AWARD FOR EUROPEAN PAINTING 2017, Frissiras Museum, アテネ (ギリシャ)  
New Horizons of Painting part one: The identities of others, Frissiras Museum, アテネ (ギリシャ)  
L' echo Des Murmures, Galerie Valerie Delaunay, パリ (フランス)  
The Figure In Contemporary Art, rosenfeld porcini, ロンドン (イギリス)

## 展覧会概要

テオドラ・アクセンテ 「The Body as a Coat of Shadow and the Coat as a Body of Light」

会期：2023年11月4日(土) - 12月1日(金)

オープニングレセプション：2023年11月4日(土) 16:00 - 19:00

営業時間：11:00 - 17:00

休廊日：日・祝日

会場：104GALERIE 東京都目黒区青葉台 1-20-4 FORCE ビル B1F

03-6303-0956 / info@104galerie.com

# IO4 GALERIE



お問い合わせ先

展覧会・広報担当：土屋美葉  
090-8567-0115  
miyo@104galerie.com

104GALERIE

東京都目黒区青葉台 1-20-4

FORCE ビル B1F

tel: +81 (0) 3 6303 0956

info@104galerie.com

104galerie.com

© Teodora Axente

1. The Eye in the Shadow  
2023  
oil on canvas  
71 x 63 cm
2. Heruvim/Cherub  
2023  
oil on wood panel  
29 x 21 cm